

UMC-Japanese Ministry
11 Highgate Terrace
Bergenfield, NJ 07621 [USA](#)

新サーキットライダー2010年9、10月号



キャンプ・クイニペットの夕焼けと木

United Methodist Church - Japanese American Ministry

合同メソジスト教会日本語ミニストリー

c/o The Church of The Good Shepherd, 326 New Bridge Road, Bergenfield, NJ 07656

Pastor Jun Yoshimatsu 牧師：吉松 純

Church: (201) 385-4100 Homepage: www.umc-japan.org

日々坦々と暮らす信仰

アハブは、エリヤの行った全ての事、預言者を剣で皆殺しにした次第をすべてイゼベルに告げた。イゼベルは、エリヤに使者を送ってこう言わせた。「わたしが明日のこの時刻までに、あなたの命をあの預言者たちの一人の命のようにしていなければ、神々が幾重にもわたしを罰してください。」それを聞いたエリヤは恐れ、直ちに逃げた。ユダのベエル・シェバに来て、自分の従者をそこに残し、彼自身は荒れ野に入り、更に一日の道のりを歩き続けた。彼は一本のえにしだの木の下に来て座り、自分の命が絶えるのを願って言った。「主よ、もう十分です。わたしの命を取ってください。わたしは先祖にまさる者ではありません。」彼はえにしだの木の下で横になって眠ってしまった。・・・主は、「そこを出て、山の中で主の前に立ちなさい。」と言われた。見よ、そのとき主が通り過ぎて行かれた。主の御前には非常に激しい風が起こり、山を裂き、岩を砕いた。しかし、風の中に主はおられなかった。風の後に地震が起こった。しかし、地震の中にも主はおられなかった。地震の後に火が起こった。しかし、火の中にも主はおられなかった。火の後に静かにささやく声が聞こえた。それを聞くと、エリヤは外套で顔を覆い、出て来て、洞穴の入り口に立った。そのとき、声はエリヤにこう告げた。「エリヤよ、ここで何をしているのか。」・・・「行け、あなたの道を引き返し、ダマスコの荒地に向かえ。そこに着いたなら、ハザエルに油を注いで彼をアラムの王とせよ。ニムシの子イエフにも油を注いで彼をアラムの王とせよ。ニムシの子イエフにも油を注いでイスラエルの王とせよ。またアベル・メホラのシャファトの子エリシャにも油を注ぎ、あなたに代わる預言者とせよ。・・・（列王記上19：1-18）

アメリカでは9月に学校、教会、諸々の団体、機関が新学期、新年度を迎えますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。私も新年度始めということで教会の新たな目標を掲げ、新プログラムの導入を検討したり、個人的にも学びの総仕上げ・・・と楽しかった夏も終わり通常の生活に

戻りました。その一方、過ぎ去った夏を惜しんでいます。

この夏はアメリカ人教会の夏季教会学校に始まり、1981年より参加しているシェルター島のキャンプ・クイニペットで行われている日本語キャンプにプログラム・ディレクターとして2週間参加、8月下旬アウト・ドアーはほとんどが初めてという40名のフィリピン人教会員家族を連れてアップ・ステート・ニューヨークの州立公園にあるキャンプ場にテントを張ってのキャンプをし、9月初めのレイバー・デー週末は東部日本語教会・伝道所合同の修養会



(ファミリー・キャンプ)に参加・・・とキャンプ教育・伝道に明け暮れました。

レイバーデーの東部日本人教会合同ファミリーキャンプ
大集合写真

子供達やキャンプ・カウンセラー達、教会関係者達と一緒にキャンプをした日々は心と心の触れ合いがあり、また通常の教会生活とは異なる聖書の学び、賛美、アート・プロジェクト、野外礼拝などなど、日ごろの処務、雑務を一切忘れ、キャンプ、修養会という特異な空間、時間に没頭することができました。また御言葉に触れて成長して行く子供達、ユースを見ては神の愛と豊かな未来を感じ、心から幸いを味わいました。

また9月19日(日)にはアメリカ人の教会の企画である第二回聖歌隊フェスティバルが持たれ、グッドシェパードの聖歌隊に加え聖歌隊、ハッピーアワーのデュオ、ハンドベルなど合計7組の讃美とスピリチュアル・ダンサーの特別参加があり、礼拝堂に集まった会衆も聖歌隊員を全員入れてではありませんが120名近くなりました。プログラムを100枚用意したのですが足りなくなり、食事もなんとか間に合いましたが、足りなくなってしまうのではないかと・・・と心配するほど盛大なものとなりました。

た。実は不信仰な私はせいぜい60名、多くても70名くらいしか来ないだろうと思っていましたので、嬉しい誤算、驚きでした。

私は勿論これらの特別な時、体験を大事にしますが、坦々と流れていく日常の時間、場所をも大切にします。何故なら神の御心は特別な時や出来事ではなく、日々の静寂、平凡に流れていく時間、ごく日常に現れるからです。

人はとかく目を引く派手なもの、鳴り物入りの盛大なイベント、きらびやかな様相、或いは大勢集まることが成功と言うような見た目、形を大事にします。

これはニューヨークに来る人の多くにも言えることです。彼らはファッションの流行とか、アート、音楽、ダンス、劇、映画などのエンターテイメント、新しいビジネス・チャンスなどと言ったニューヨークという都市のごくごく一部の面（恐らくニューヨークに住んでいる人達の90パーセント以上がこのようなきらびやかなニューヨークには無関係なのですが）にばかり目を奪われ、ニューヨーカー（というより一般市民と言うべきか・・・）の大半がそんな浮いた生活とは無縁に地道に暮らしているのを知らないでいます。

若い頃大学を卒業して神学校に行くお金を貯める為にニューヨークのクイーンズで1年間仕事をしていました。毎朝4時起きで、まだ暗い5時には家を出て地下鉄に乗って仕事場に向かっていました。夜明け前なのに地下鉄1番と7番の電車は仕事明けの労働者、これから仕事に向かう労働者、ビジネスマン、ウーマンで結構混んでいました。特に夜勤あけらしい労働者達が多かったのですが、彼らは自分の生活の為、家族の為に働き、恐らくはニューヨークのショービジネスとは無関係に生きているように思えました。これはあくまで彼らの肉体労働者らしい様子から、私が勝手にそう思っただけで、もしかしたら彼らは頻りにミュージカルに出かけたり、オペラを観たり、美術館に行っていたかもしれません。しかしあながち外れた推察でもないと思います。世の殆どの人には自分の生活、人生を築く為に一生懸命働き、贅沢やきらびやかさとは無関係に暮らしています。

ただ日々働き平凡に過ごす。週日は労働に従事し、週末は教会、シナゴークで礼拝を守る。

ごく普通の暮らし。その中で時に楽しいこと、感謝祭、クリスマス、1、2年に一回あるかなにかのオペラ鑑賞、コンサートなどに胸膨らませ、一生にほんの一、二度ほどの旅をして、記念写真を家で大切に飾る。人に迷惑をかけることもなく、世間に知られることもない。時々やってくる家族や親戚、友人の厄介な問題に胸を痛め、時に病気に憂い、愛する者を送り出し喪に服す。子供の学校入学、卒業、結婚、出産、洗礼式などめでたい出来事に慶ぶ。このような普通の人生こそ何と貴いではありませんか。

エリヤは旧約聖書の中でも最も力ある預言者と呼ばれバアルとアシュラの偽預言者800人に対して1人で勝利しました。しかしエリヤ女王が彼の命を狙うと脅した時、エリヤは怯えて山中を逃げ回りました。疲れ果てたエリヤはどうとう「自分の命を取って欲しい」とまで神に願うようになりました。その時、神が現れました。

洋の東西を問わず人間は神の出現を超自然現象の中に求めます。エリヤも同様に激しい風の中で、地を揺り動かす地震、燃えつくす火の中に神の存在を探しました。が、神はそれらの現象の中にはいませんでした。それらが過ぎ去った後、静寂が訪れました。その静寂の中から神の声が聞こえてきました。その声は弱ったエリヤを元気付けました。しかし、その神の声は何か特別なこと、例えば「1000人の敵を打ち倒せとか、3万人のメガ・チャーチ（教会、寺院）を作れ」とか言うものではありませんでした。神はエリヤに「元いた場所に引き返し、自分の仕事＝預言者としての仕事を全うするように」と語ったのです。

自分の為すべきことを日常の中でする。これが大事なのです。あなたにはあなたにしかできないことがある。それを日々坦々としていく。教会生活、伝道、また私たちの人生とはそういうものなのではないでしょうか。

吉松 純

礼拝予定：

9月
5日 キャン 東部日本語教会合同ファミリー・
プ参加、グッドシェパードでの礼
拝はあり
りません。

12日 礼拝、聖餐式、Jr. 教会、
ハンドベル
の練習。
19日 聖餐式礼拝。聖歌隊フェスティバルの為
の時間短縮。
26日 午後1時45分から聖書の学び。
礼拝、
ゲスト：相良昌彦牧師。Jr. 教会、
自由。
10月
3日 聖書の学び、礼拝：聖餐式。Jr. 教会
10日 聖書の学び、礼拝、Jr. 教会
17日 聖書の学び、礼拝、Jr. 教会
24日 聖書の学び、礼拝、Jr. 教会
31日 聖書の学び、礼拝、Jr. 教会
11月
7日 3教会合同半日修養会@ニューヨ
ーク日
本語教会。グッドシェパードでの
礼拝は
ありません。
14日 聖書の学び、礼拝：聖餐式、Jr. 教会

お知らせ：

- * 9月25日(土)にキャンプ・リユニオンがユニオン日本語教会で持たれ、キャンパーやカウンセラーが集い楽しい時が持たれました。感謝。
- * 毎週日曜日、聖書の学びが始まりました。礼拝前の午後1時45分から1時間、聖書を分かりやすく解説し、話し合いの時間を持ちます。高校生、大学生を対象としていますが、どなたも歓迎いたします。学びの箇所は創世記です。
- * また毎月第四日曜日、午後1時45分からSMJ主催による、キャンプ準備会を兼ねた聖書の学びも継続されます。ルカによる福音書から学びます。こちらもどうぞお出かけ下さい。
- * 11月7日はNY日本語教会、ユニオン日本語教会とグッドシェパード教会日本語ミニストリーの合同半日修養会があります。場所はNY日本語教会で午後1時から5時まで。ランチ希望の方は午後12時15分からとなっています。詳細は吉松牧師まで。

2010-2011年度は諸事情によりサーキットの印刷、発送は隔月になりますが、今後ともよろしくお願いいたします。

お祈りと献金の御協力をお願いします。チェックのあて先はUMC-JAとし、どのプログラムに献金したいか明記してお送り下さい。

*自然災害被害者の為
*サマーキャンプの為
*2010年東部日本語教会合同ファミリーキャンプの為
*ハーベスト・タイムの新たなミッションの為
*消印のついた切手の周り1センチの余白を残して切り取って下さい。切手は日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)に送ります。JOCS海外に医療関係者を送ると共に医療関係者の育成をしています。
*ケニアの恵まれない子供達やエイズの患者さんの為に特別献金をしています。
*パターソンのSt. Philip伝道と社会福祉団体CUMAC/ECHOの為に。どちらもメソジスト教団に属し、貧しい人達のためにの炊き出しと路傍伝道をしています。

教会の住所：

UMC-Japanese Ministry

The Church of the Good Shepherd, UMC.
326 New Bridge Rd. Bergenfield, NJ 07621

英語オフィス(201) 385-4100

ホームページ：<http://umc-japan.org>

牧師館：(201) 338-2744

吉松牧師 junyoshim@optonline.net

教会学校担当：吉松 泉姉

izumi.yoshimatsu@gmail.com